

2025年度（令和7年度）逗子市地域福祉計画進行管理表

資料2

【第4章第2節福祉分野の個別計画施策体系】

所管名： 障がい福祉課

計画名	逗子市障がい者福祉計画
取り組みの方向	4 障がい者が安心して自分らしく暮らし続けられるまち
具体的施策	②障がいのある人の居住支援

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

市内におけるグループホームの施設数が12か所になっている。



【現状：2024年度（令和6年度末）】

8か所整備されている。

【2024年度の取り組み実績】

・ 市内	民間障がい者福祉施設整備等促進事業	事業費（2024年度実績額）	35,688,808 円
・ 市内外のグループホームに入居する障がいのある人に、家賃の一部を助成した。（支給決定人数78名） ※市民税課税世帯の者については月額上限20,000円、同非課税世帯の者については月額上限15,000円 ・ 新たに設置を検討しているグループホームについて自立支援会議に諮った。			

【懇話会の意見】

【自己評価】

概ね順調であるとみなせる。

【課題の分析と今後のアプローチ】

グループホームの設置を検討している事業者次第になってしまうため、実際の設置まで繋がらなかった相談も複数あった。引き続きグループホーム設置を検討している事業者へ補助制度等の情報提供を積極的に行っていく。

2025年度（令和7年度）逗子市地域福祉計画進行管理表

【第4章第2節福祉分野の個別計画施策体系】

所管名： 障がい福祉課

計画名	逗子市障がい者福祉計画
取り組みの方向	4 障がい者が安心して自分らしく暮らし続けられるまち
具体的施策	③障がいのある人の就労支援

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

福祉施設の利用者のうち、就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行する人数が18人/年になっている。



【現状：2024年度（令和6年度末）】

福祉施設の利用者のうち、就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行する人数は7人/年となった。

【2024年度の取り組み実績】

事業名	就労等支援事業	事業費（2024年度実績額）	2,146,532 円
組織・人材等の体制、職務環境・人事管理等の整備や毎年度の取組状況の検証等を行いながら、市役所における障がいのある人の雇用、定着について推進していく「逗子市障がい者活躍推進計画」に基づき、市役所で10日間勤務するトライアル雇用を2名実施した。			
事業名	知的障がい者等雇用促進事業	事業費（2024年度実績額）	4,470,000 円
市内在住の知的障がい者及び精神障がい者を3か月以上雇用する雇用主10件に対して、障がい者1人につき月3万円を支給した。			
事業名	障害者自立支援給付等支給事業	事業費（2024年度実績額）	1,030,578,429 円
障がいのある人の地域生活を支援するため訓練等給付を支給、機能訓練、就労支援などの通所系サービスを提供し、この通所系サービスを192人が利用した。			
事業名	相談支援事業	事業費（2024年度実績額）	30,211,496 円
自立支援会議専門会議就労支援部門において、関係機関との円滑な就労支援を行う体制づくりに取り組んだ。2回開催。			

【懇話会の意見】

【自己評価】

よこすか障害者就業・生活支援センターと連携して実施する「障がい者就労なんでも相談」、「ふれあいマーケット」のふれフェスinずしにおけるの同時開催、「特別支援学校との進路に関する情報交換会」、就労支援員による事業主訪問などを実施したことで多角的な就労支援が出来ているとみなせる。

【課題の分析と今後のアプローチ】

自立支援会議専門会議就労支援部門における意見交換や情報共有を行い、関係機関の相互連携を深めていくとともに、「障がい者就労なんでも相談」をはじめとする当事者の相談の場による支援と就労支援員による事業主訪問を引き続き実施していく。
また、職場体験実習を利用してもらうために、市内企業に対して職場体験実習の受け入れを依頼していく。

2025年度（令和7年度）逗子市地域福祉計画進行管理表

【第4章第2節福祉分野の個別計画施策体系】

所管名： 障がい福祉課

計画名	逗子市障がい者福祉計画
取り組みの方向	4 障がい者が安心して自分らしく暮らし続けられるまち
具体的施策	④ バリアフリーの推進

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

「障がいや障がいのある人に対し、社会全体の理解が進んできた」と回答する人の割合が66%以上になっている。



【現状：2024年度（令和6年度末）】

令和6年度まちづくりに関するアンケートにおける「障がいや障がいのある人に対し、社会全体の理解が進んできた」の回答者が47.5%となった。

【2024年度の取り組み実績】

事業名	障がい者の住みよいまちづくり推進事業	事業費（2024年度実績額）	471,404 円
ふれあいフェスinずしを障害者週間に実施し、402人の参加があった。 理解促進研修・啓発事業及び自発的活動支援事業については、4事業を実施。 市が設置または管理する公共施設を整備する際にユニバーサルデザインの視点を取り入れたバリアフリー化を進めるため、広く市民、高齢者、障がいのある人等の代表を含む関係者等の意見を聴取している公共施設バリアフリー懇話会を1回開催した。 (小坪2丁目県有地の活用（公園整備）)			
事業名	相談支援事業	事業費（2024年度実績額）	30,698,232 円
基幹相談支援センターで事業者を中心とした関係機関に対して、差別解消や権利擁護に関する研修を2回実施した。			
事業名	障がい者権利擁護事業	事業費（2024年度実績額）	65,000 円
市職員に対し、合理的配慮の提供をテーマにオンデマンド研修を行った。 障がい者の権利擁護啓発講演会を令和3年度から継続して実施した。			

【懇話会の意見】

【自己評価】

ふれあいフェスinずしや障がい者の権利擁護啓発講演会の参加者数は増加しており、障がいや障がいのある人への理解促進・啓発は少しずつ進んでいると考えられ、概ね順調であるとみなせる。

【課題の分析と今後のアプローチ】

引き続き上記事業を推進し、市内における障がいや障がいのある人への理解促進に取り組んでいく。
また、小中学校において、社会福祉協議会や当事者団体等と連携しながら、障がい、LGBT等社会的マイノリティとその多様な在り方や、高齢者の介護などを広く理解する福祉教育に取り組む。

2025年度（令和7年度）逗子市地域福祉計画進行管理表

【第4章第2節福祉分野の個別計画施策体系】

所管名： 障がい福祉課

計画名	逗子市障がい者福祉計画
取り組みの方向	4 障がい者が安心して自分らしく暮らし続けられるまち
具体的施策	⑤ 地域生活支援拠点等の充実

【数値目標：2029年度（令和11年度）】

緊急時の受け入れ・対応の対象となるハイリスク者の登録者数が30人になっている。



【現状：2024年度（令和6年度末）】

前年度の登録者数、22名から増減はなし。

【2024年度の取り組み実績】

事業名	障害者自立支援給付等支給事業	事業費（2024年度実績額）	1,030,578,429 円
緊急時の受け入れ・対応を行った実績はなし。 前年度の登録者数、22名から増減はなし。			
事業名	相談支援事業	事業費（2024年度実績額）	30,698,232 円
基幹相談支援センターによる各相談支援事業所との連絡会を年12回開催し、相談支援機関と困難事例等を通じて、支援体制の強化に取り組んだ。 自立支援会議にて、地域生活支援拠点等の運用状況の検証・検討を行うとともに緊急時を見据えたシミュレーションを行った。			
事業名	就労等支援事業	事業費（2024年度実績額）	3,223,579 円
障がい者の体験利用受け入れを行った事業所3か所に対して、事業種別に応じた金額を支給した。			

【懇話会の意見】

【自己評価】

一定数の事業所が登録され、制度として整備はされたが、未登録の市内事業所が存在しているため、引き続き登録を促していくこと、また登録された事業所に対しても、登録した機能以外の機能も担っていただくよう促していくことが必要。

【課題の分析と今後のアプローチ】

今後も事業について広く周知していき、緊急時の受け入れ・対応の対象となるハイリスク者の洗い出し、並びに対応できる市内事業所の登録勧奨を行っていく。